

24. 皮膚腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン 療法	放射線療法		凍結 療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
						体外照射					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 形成外科	4	4	状況	○	○	○	×	×	腫瘍は良性・悪性ともに、手術後のきずあとや機能障害が最小限になるように手術方法を選択しています。手術用顕微鏡を使って血管や神経をつなぎ、より適切で大きな組織を移植する方法も行っています。また、乳癌手術後の乳房欠損や変形などの再建も治療の対象です。	ア	形成外科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	なし	なし	なし	なし		なし	イ	http://		
2 皮膚科	4	4	状況	×	○	×	×	×	良性腫瘍に対しては標準的治療、また悪性腫瘍に対してはガイドラインに則した治療を行っています。	ア	皮膚科	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし		なし	イ	http://		
3 放射線治療科	2	2	状況	×	×	×	○	×	化学療法は単独で癌を根治することが難しく、補助療法として用いられるためこのような呼び方がされます。当科では肺癌の定位照射やIMRT(強度変調放射線療法)などの高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。	ア	放射線治療科	掲載なし	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし		なし	イ	http://		
4			状況							ア	http://			
			実績								イ	http://		
5			状況							ア	http://			
			実績								イ	http://		

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん
------------------------------------	--